



キダイ（日本海・東シナ海系群）

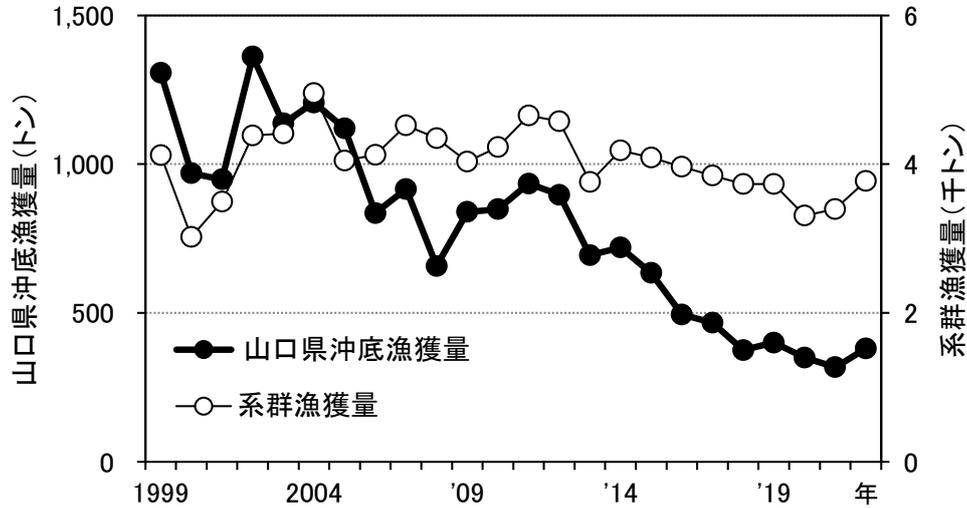


図 山口県沖合底びき網漁業によるキダイ漁獲量（下関漁港水揚量）及び日本海・東シナ海系群キダイ漁獲量（(国研)水産研究・教育機構 資源評価報告書）の推移

【漁業】キダイは主に沖合底びき網により漁獲される。沿岸域では主に小型底びき網や延縄で漁獲される。沖合底びき網の主な漁獲サイズは尾叉長 12～17cm（豆芝）である。

【漁獲量】山口県沖合底びき網漁業の漁獲量は、2002年に1,362トンと最高値を記録したが、その後は減少傾向にある。2022年の漁獲量は380トンであった。

系群の漁獲量は、1960年に1万トンを超えていたが、2013年以降は4千トン前後で推移している。

【資源状態】資源状態は、東シナ海では1993年以降の2そうびき以西底びき網漁業とトロール調査のデータから計算した標準化 CPUE から中位、日本海では1993年以降の島根県浜田以西の2そうびき沖合底びき網漁業のデータから計算した標準化 CPUE により高位と判断されたが、系群の主体は東シナ海にあることから、系群全体の資源水準は中位、動向は増加と判断した。

資源の水準・動向		2022年漁獲量	2024年 ABCtarget	2024年 ABClimit
水準	動向	(百トン)	(百トン)	(百トン)
中位	増加	38	32	40